

## 「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced Course（第4回研修会）」開催要項

1. 趣 旨 若手・中堅教員等が、学校や地域の教育諸課題の解決に向けた実践と省察、課題研修やピア・サポート等を行うことにより、ミドル・スクールリーダーとしての資質能力の向上を図るとともに、教職実践課題の解決力、省察力の醸成を図る。
2. 主 催 独立行政法人教職員支援機構、 同 山口大学センター  
山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻（教職大学院）
3. 共 催 山口県教育委員会
4. 開催日時 令和4年10月15日（土）9：30～12：00
5. 開催場所 KDDI 維新ホール「会議室 201」  
〒754-0041 山口市小郡令和1丁目1番1号 TEL 083-902-6727
6. 参加者 教職経験（正規教員経験）3～20年目頃の教員、教職大学院生、大学教員等
7. 研修内容
  - (1)開会行事 (9:30～ 9:40)  
あいさつ 教職員支援機構山口大学センター センター長 和 泉 研 二  
諸連絡 研修プログラム概要説明、諸連絡
  - (2)講演 (9:40～11:40)  
テーマ 「志ある若者を励ます ～大学・組織経営者として考えること（仮題）」  
講 師 国立大学協会 参与  
(和歌山大学 第15代学長)  
学校法人大阪観光大学  
理事長 山 本 健 慈 さん
  - (3)研修のまとめ (11:40～12:00)  
あいさつ 山口大学大学院教育学研究科  
研究科長 鷹 岡 亮
8. 新型コロナウイルス感染防止対策
  - (1)本研修の実施においては、主催者として、「参加者の制限」、「入退場管理」、「会場の換気」、「参加者の健康観察とトレース」等を行い、感染予防に万全を期す。  
同時に、受講者一人一人には、感染防止に向けた責任ある行動を要請する。
  - (2)研修地域や受講者居住地の感染状況や推移、研修関係者の意向等をふまえて、研修形態を「対面・参集型研修」から「オンライン研修」等に変更する場合がある。
9. その他
  - (1)本研修事業は、独立行政法人教職員支援機構地域センター（山口大学センター）事業経費により運営される。





# NITSカフェ 第1弾! NITSカフェ in UBEはオンラインで開催! 宇部市・山陽小野田市の皆さんも「Cafe = ちゃぶ台スタイル」に集って!



今年も「NITS-Cafe」がやってきました。「NITS-Cafe」は、教職大学院が中心となって、学校の教職員、教育委員会関係者や教員養成・研修に関わる幅広い教育関係者等が集い、参加型ワークショップをとおして協議や意見・情報交換を行いながら、教職員のキャリアデザインや求められる力（資質能力等）について、一緒に、豊かに考えようとするものです。

今回の会場は宇部市。そして地元宇部市や山陽小野田市からの参加者もいらっしやる...ということで、直前まで「対面・参集型」をめざしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、オンライン研修に切り替えました。でも、そこは「ちゃぶ台に慣れっこ」の面々。和気あいあいとした雰囲気の中で充実した一日となりました。

なお、参加者は計62人（現職教員32人、教職大学院生13人、県・市教委指導者2人、大学教職員等15人）でした。概要を報告します。

## 開会行事

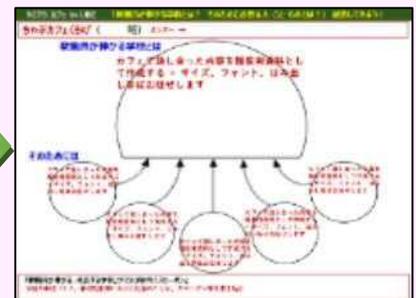
主催者を代表し、教職大学院の佐々木司専攻長から、NITSと山口大学や教職大学院とのつながり、今までの「NITS-Cafe」の歩みや成果、宇部市教委さんへの謝辞を盛り込んだ爽やかな挨拶が。



その後、宇部市の野口政吾教育長さんから、教員免許更新制講習終了後においても「学び続ける教員」として資質能力向上を求め続ける姿勢をもち、自主的自発的学びを「子どもたちや学校に還元して行ってね!」との熱いご挨拶を頂きました。野口教育長さん、公務ご多用の土曜日でしたが、ありがとうございました。

## Cafe 「私の教職キャリアと成長実感 ~ 教職員の成長契機を考える ~」

教育は人なり = 子どもたちにとって最大の教育環境は教職員 = 教育の成否は教職員の資質能力とその向上が鍵を握る! 不断の資質能力向上や「山口県教員育成指標」の重要性を確認した後、「Cafe」~①自身の人生・教職「history」を開示し、教職員の成長機会や教職員を伸ばす学校のイメージをつくる (history マップ) ②期待する研修・機会・場の交流をとおして教職員が伸びる学校を構想する (くらげマップ) ワークを行いました。まあ、みんなそれぞれの「history」、それぞれの「想いや願い」があって。ととても和やか、楽しい、それでいて豊かなワークでした。



10 グループの協議風景や「くらげマップ」からは、「個人の質向上 (スキルとマインド) と環境・集団の活性化 (仕組みと取り組み) を連動させようとする学校」、「豊かな同僚性と適切なメンター・メンティー関係がある学校」、「成長のチャンスや失敗を上手くフォローできる関係性がある学校」等を「めざす学校像」とし、「良きモデル像の存在とキャリアデザイン」、「次のフェーズを意識した目標設定と日々のマネジメント」、「同僚教職員との協働と Learning by Teaching」、

「マインドの共有と仕組みの確立」等を「教職員が伸びる学校に必要なこと」と捉える視点、想いや願いが多く見られました。

そのためにも、「自らが周囲に活力と元気を与える火付け役となり、学校全体で成長しようとする教育風土、教育文化を創造していきたい」、「自分たちの世代から若手世代を巻き込み、勢いを付けていくことから始めたい」等の声も聞かれ、大変勢いのつく「Cafe」となりました。皆さん、ありがとうございました。



## 参加者のコメントから

振り返ってみると自分の成長ターニングポイントは、尊敬する先輩教員や素直で一生懸命な子どもたち、その保護者の方々との出会いでした。そして、今回の振り返りで驚いたことは、ターニングポイントとなった先輩教員のその時の年齢を今の私が越えていること。私が先輩教員の影響を多分に受けたように私はだれかにより影響を与える存在になっているだろうか、これまでを振り返るとともに今の自分を振り返ることができました。カフェでの情報共有では「自分もそうだった」と思える共通のタイミングがあり、大変盛り上がりました。2学期からのエネルギー補充がしっかりできた「NITS カフェ」に感謝です。(中学校教員)

「事前課題」を元に教職員が伸びる学校について熟議を行った。私の班は、ストマス院生、小・中・高校教員、市教委、大学教員とバランスが取れていて、それぞれの先生方のターニングポイントやエピソードを拝聴することができ有意義であった。班のまとめを「様々な校務分掌を経験すること」「学校外の人や考えからの学びを取り入れること」とし、そのための方策として「複数の校務分掌を担当」「若手とベテランでペアを組む」などが挙げられた。実行したいワクワクするアイデアも多くあり、とても有意義な「カフェ」となった。(中学校教員)

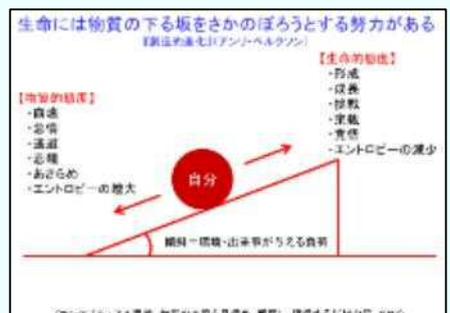
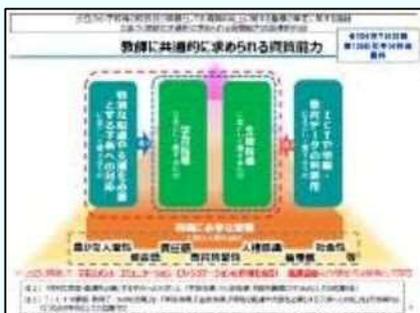
様々な立場や年齢の方との語りによって、カフェで学ぶことのよさを強く感じたこと、事前の宿題があったので、話し合いが焦点化でき短時間で深めることができたこと、私たちの班では、校内研修そのものに焦点を当てて話すことができたこと等を感じました。一つの学校での研修も勿論ですが、複数の学校、隣接の学校、関係する小中学校等で行う研修、小学校から大学までの子どもたちを講師に行う研修、複数校(小規模校では特に)や市町の研修では、オンラインやオンデマンドを活用した研修等を行う必要があるとの声も出ました。私も、オンラインは、対面の補充としてではなく、対面とオンライン、オンデマンドをミックスして行うことが、今や研修の大きな方法となったと思います。もちろん、「わいがや」の職員会や同僚性あふれる教職員集団による研修は必須ですが、その上で、参加しやすく深めやすいオンライン研修等の工夫ができるといいと思いました。(大学教員)

## 講演① 「マネジメントの役割について ~ これからの社会の変え方を一緒に探しに行こう ~」

## 講演② 「教員の学び、育ちを支える学校づくり、学校改革」

後半はゲスト講師による「豪華な講演2本立て」!

広島県立呉三津田高等学校の山田哲也校長先生からは、教師のやり甲斐、令和の日本型学校教育の構築とエージェンシー、教育と社会に見られる構造的断絶、社会の小舟化と学校教育の意義、マネジメントと組織文化の形成方途等に関する講演をいただきました。現代社会や学校教育を取り巻く環境分析をととした学校教育の方向性、改革に向けての教員や教職員集団の自身の意識改革を求めた内容として、参加者には「大きな刺激」かつ「身の引き締まる激励メッセージ」となりました。



北海道小樽市立朝里中学校の森万喜子校長先生からは、子どもを主語に語りあえ子どもも教職員も成長できる学校づくり、心理的安全性、情報開示と共有、「放牧学校」に象徴される任せるマネジメント、若手集団の形成と変革者のあり方等について、具体的な実践事例や学校紹介も含めた講演をいただきました。参加者の成長、意識改革と学校改善・改革へのムーブメントにつながる、オンラインで「つながったみんなが元気になる」90分間となりました。

<p>あなたが勤務している学校は…</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたを<b>成長</b>させてくれる場ですか。</li> <li>• <b>児童生徒を主語</b>に語り合える場ですか。</li> </ul>	<p>1 心理的安全性の担保 —生徒も大人も—</p> <table border="0"> <tr> <td>今までの学校</td> <td>これからの(今の)学校</td> </tr> <tr> <td>すずめの学校</td> <td>めだかの学校</td> </tr> <tr> <td>舞台村</td> <td>→デパートの大食堂 →巨大ビュッフェ</td> </tr> <tr> <td>命中文+or 幸中文+and</td> <td>→ What-?</td> </tr> </table> <p>指導者主権 命中文の学びから学習者主体の学びへ 教師からファシリテーターへ</p>	今までの学校	これからの(今の)学校	すずめの学校	めだかの学校	舞台村	→デパートの大食堂 →巨大ビュッフェ	命中文+or 幸中文+and	→ What-?	<p>カイゼンを進めるには</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロセスと成果の見える化</li> <li>• 情報はオープンに</li> <li>• 声の小さい人の意見を拾う</li> <li>• 必ずレスポンスをすること</li> <li>保護者アンケートや生徒の声にも</li> </ul>
今までの学校	これからの(今の)学校									
すずめの学校	めだかの学校									
舞台村	→デパートの大食堂 →巨大ビュッフェ									
命中文+or 幸中文+and	→ What-?									

## 参加者のコメントから

私たち自身が成長する為にも、俯瞰する範囲をより広げて学校を見ることの意義を学びました。これ迄は、短期的な視点かつ限定された範囲で教育活動を捉えていましたが、長期的な視点かつ視野を広げることの重要性を認識することができました。学校運営や地域社会、経済活動を結びつける視点を持つことで、求められる資質能力の背景も理解することができました。(小学校教員)

山田校長先生のご講演では、「教員のやりがい」を社会の本質から問い直す視点に感銘を受けました。初めに「教員のやりがい」は何かという問いに対して、「やりがい」そのものではなく、社会の変化から学校教育の役割や組織文化、マネジメントの役割の視点から広がっていきました。そして、最後にまた「教員のやりがい」に戻り、どうやって、どのような人間に子どもたちを成長させるかを問い直すことで、「教員のやりがい」を深く考えることができたと思います。答えはすぐに見つかるものではないでしょうが、答えの模索しながら、社会の変化に応じて変わるべき教育と学校のマネジメントを自分なりに刷新していきたいと思いました。(高校教員)

教務主任をしていた時、同僚から「先生を見ていたらすごく大変そうだから自分には無理」と言われ反省したことを思い出した。森校長先生の学校では「主任をやってみたい」「学校に関わる仕事してみたい」「管理職になりたい」という教員が増えているとのこと。私自身、森校長先生のお話を聞きながら「この校長先生と働いてみたい!」と強く感じた。「人材育成」として何か手を打つことだけではなく、自分自身が「この人みたいな働き方をしてみたい!」と思われるような素敵モデルになることめざしたい。(小学校教員)

教育は何のため、誰のため、を押さえてないと自分のやっていることの是非を問えないと思いました。経験値が上がり、ベテランになればなるほどフラットに人と付き合うように心掛け、実践しないと本当の意味での問題に対応でき、乗り越えられる教員集団には成長しないとも。心理的安定を広げていくには、リーダーや管理職が率先して行うことが望ましいが、難しければ中堅教員からやってみるべきと元気も出ました。(特別支援学校教員)

## 講評 + 閉会行事



その後、山口県教育庁教職員課の武居輝記先生から、「NITS-Cafe」全体をとおしての講評と参加者への温かいエールをいただきました。

武居先生には、行事の最初から最後までご参加いただき、「Cafe」では全ての班を廻ってくださいました。お忙しい中を本当にありがとうございました。

最後に、NITS 山口大学センターの和泉研二センター長が謝辞および閉会挨拶を行いました。

今回の「NITS-Cafe」を「暑い夏、熱い教員研修の夏」を締めくくる充実した会にしてくれた参加者の皆さん、宇部市・山陽小野田市からご参加の先生方、山口県・宇部市教育委員会事務局の皆さま、そして私たち参加者の教員としての力量を高め、元気にしてくださった山田先生、森先生に感謝いたします。





NITS カフェ in UBE 「教職員が伸びる学校とは？ そのために必要な人・こと・ものは？」 徹底してみよう！

ちやぶカフェくらげ ( 7 期 ) メンバー → 鹿江先生、丸山先生、酒田さん、高橋先生、大丸先生、神山

教職員が伸びる学校とは

学校の雰囲気  
 ・チャレンジ精神が旺盛な集団  
 ・失敗を受け止め、全員でカバーできる  
 ・さまざまな役割分担を担える  
 ・誰かと一緒に協力ができる  
 ・道徳的に人を巻き込める力がある  
 その他  
 ・現場経験以外で広い視野がもてる  
 ・さまざまな人と関わる事ができる

そのためには

① 強固な体制構築  
 ② 各々の役割分担が明確  
 ③ チームワークの醸成  
 ④ 各々の強みや得意分野を伸ばせる  
 ⑤ 各々の成長を促せる

「教職員が伸びる、成長する学校」づくりの鍵は「スローガン」  
 多くの立場から学校生活を知り、多くの教師を協同することで、チャレンジをしていくことができる学校

NITS カフェ in UBE 「教職員が伸びる学校とは？ そのために必要な人・こと・ものは？」 徹底してみよう！

ちやぶカフェくらげ ( 8 期 ) メンバー → 高橋先生、河野先生、村上先生、長谷先生、木村

教職員が伸びる学校とは

なんでもいいたいことが言える、  
やることが出来る学校

そのためには

① 各々の強みや得意分野を伸ばせる  
 ② 各々の成長を促せる  
 ③ 各々の役割分担が明確  
 ④ チームワークの醸成  
 ⑤ 各々の強みや得意分野を伸ばせる

「教職員が伸びる、成長する学校」づくりの鍵は「スローガン」  
 いいたいことが言える、やることが出来る学校

NITS カフェ in UBE 「教職員が伸びる学校とは？ そのために必要な人・こと・ものは？」 徹底してみよう！

ちやぶカフェくらげ ( 9 期 ) メンバー → 高橋先生、谷村先生、坂田先生、藤上先生、田中

教職員が伸びる学校とは

・ 若手もベテランもチャレンジ精神がある。  
 ・ 自分の役割を理解している。  
 ・ 人とのつながりを大切にする。  
 ・ 常に子供のことを考え児童生徒を「主眼」に  
 ・ 失敗が許される。  
 ・ 若手にいろんな経験をさせてあげる。

そのためには

① 各々の強みや得意分野を伸ばせる  
 ② 各々の成長を促せる  
 ③ 各々の役割分担が明確  
 ④ チームワークの醸成  
 ⑤ 各々の強みや得意分野を伸ばせる

「教職員が伸びる、成長する学校」づくりの鍵は「スローガン」  
 高橋先生が育て、成長の土壌を育てる。

NITS カフェ in UBE 「教職員が伸びる学校とは？ そのために必要な人・こと・ものは？」 徹底してみよう！

ちやぶカフェくらげ ( 10 期 ) メンバー → 鹿江先生、坂田先生、村上先生、西村先生、田中先生

教職員が伸びる学校とは

高く見守ってくれる先生がいる学校  
 ( やりたいことをやってあげることができる学校 )  
 ・ ワーキングスタイルだけでなく、フェロウシップのある学校  
 ・ 経験のある ( やったことがないことをやっ、チャレンジした ) 学校  
 ・ 心情的な責任 ( 何とも別し合える、相談できる関係 )

そのためには

① 各々の強みや得意分野を伸ばせる  
 ② 各々の成長を促せる  
 ③ 各々の役割分担が明確  
 ④ チームワークの醸成  
 ⑤ 各々の強みや得意分野を伸ばせる

「教職員が伸びる、成長する学校」づくりの鍵は「スローガン」  
 成長意欲を高め、成長意欲を支える学校

## 2022年度「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」実施要項

### 1. 趣旨

自立・向上・充実期にある若手・中堅教員（概ね教員経験3年以上）が、学校や地域の教育諸課題の解決に向けた教職実践と省察、課題研修やピア・サポート等を行うことにより、ミドル・スクールリーダーとしての資質能力の向上を図るとともに、教職実践課題の解決力や省察力の醸成を図る。

2. 主催 国立大学法人山口大学（教職大学院・教育学部）

3. 共催 山口県教育委員会、(独)教職員支援機構山口大学センター

4. 主管 国立大学法人山口大学（教職大学院）

### 5. 「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」の日程、内容、主たるテーマ、場所（予定）

第1回 令和4年6月25日（土） 13:00～17:00

@山口大学

**山口県教育の現在地、教育政策・施策の実際**

講師 山口県教育庁教育政策課 班長 今田隆之  
山口県教育庁教職員課 主査 松嶋 渉



第2回 令和4年8月27日（土） 10:00～12:00

@山陽小野田市「不二輸送機ホール」

**教職員のキャリア形成と成長契機（ワークショップ）**

講師 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居輝記  
北海道小樽市立朝里中学校 校長 森万喜子

※会場・開催時間変更  
12:30～17:10 オンライン研修

第3回 令和4年8月27日（土） 13:00～17:00

@山陽小野田市「不二輸送機ホール」

**教職員研修の活性化と学校づくり**

講師 広島県立呉三津田高等学校 校長 山田哲也  
北海道小樽市立朝里中学校 校長 森万喜子



第4回 令和4年10月15日（土） 9:30～12:00

@山口市「KDDI 維新ホール」

**大学・組織経営をふまえた教育界への期待**

講師 和歌山大学 第15代学長、大阪観光大学 理事長 山本健慈

第5回 令和4年10月15日（土） 13:00～17:00

@山口市「KDDI 維新ホール」

**令和時代の学校づくりとコミュニケーション能力**

講師 教育実践研究家 菊池道場主 菊池省三



第6回 令和4年11月5日（土） 10:00～12:00

@下松市「スターピアくだまつ」

**若手教員の学びと育ち、人材育成とピア・サポート（ワークショップ）**

講師 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居輝記

第7回 令和4年11月5日（土） 13:00～17:00

@下松市「スターピアくだまつ」

**不登校、生徒指導上の諸課題とコーチングスキル**

講師 ナラティブコミュニケーション研究所 所長 佐藤敬子

第8回 令和4年12月24日(土) 13:00~16:30

@山口市「KDDI 維新ホール」

教員としてのことば、表現と基本スキル

講師 アナウンサー (KRY 山口放送) 瀬川 嘉



第9回 令和5年2月11日(土) 13:00~17:00

@山口大学

会員相互、ゲストプレゼンターの実践発表、研究発表と交流

講師 会員相互、やまぐち総合教育支援センター長期研修教員等

第10回 令和5年3月18日(土) 13:00~17:00

@山口市「セントコア山口」

人権尊重と共生社会の創造、ネットいじめ、LGBTQ

講師 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄

宝塚大学看護学部 教授 日高庸晴



特設研 令和5年3月18日(土) 10:00~12:00

@山口市「セントコア山口」

1年間の振り返り

## 6. 実施方法並びに実施会場(予定)

(1) 集合・対面型(山口大学、学外会場)に限らず、新型コロナウイルス感染状況等に応じて、オンライン研修型(Zoom、Webex等を用いた同時双方向通信)研修を導入することがある。

## 7. 受講者

### (1) 受講資格

小・中・義務教育・高等・中等教育学校及び特別(総合)支援学校教諭等で、教職経験が概ね3年以上の者(20代後半から40代教員を想定)、県・市町村教育委員会事務局に勤務する者、教職大学院生等

### (2) 受講申込

受講希望者は、プログラム事務局(m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp)宛に申し込む。

### (3) 受講者決定

プログラム事務局において決定し通知する。研修プログラムの標準定員(60人)を超過した場合は、受講者数を調整することがある。

## 8. 新型コロナ感染予防

集合・対面型研修として実施する場合、プログラム事務局として、感染予防等に以下の体制をとる。

参加者の制限、入退場管理、会場の換気、参加者の健康観察とトレース等

## 9. その他

(1) 本プログラムは、学校や教育委員会との連携・協働による「連続・積み上げ型研修」であり、受講生相互や関係者との自己開示、協働的関わり、ネットワーク形成をとおした連带的、主体的な成長を目指すものであることから、研修行事を優先(受講生による日程・用務調整)する姿勢を基本とする。

(2) プログラム事務局の連絡先は次のとおりとする。

「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」事務局

〒753-8513 山口県山口市大字吉田1677-1

山口大学大学院教育学研究科・教育学部・NITS 山口大学センター

TEL&FAX 083-933-5458 E-mail [m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp) (霜川)

霜川、藤上、足立、大丸、岡田を主担当として、15人のスタッフチームで運営します!